



SAMS Information

The University of Tokushima Graduate School, Institute of Health Biosciences,
Support Center for Advanced Medical Sciences (SAMS)

No. 51
2011/9/1

USBフラッシュメモリを媒体としたウイルス感染対策のお願い

USBフラッシュメモリを媒体として感染拡大するコンピュータウイルスが流行しています。使用する前に必ずウイルスチェックをして下さい。

日頃は、総合研究支援センター 先端医療研究部門の運営に対し、ご協力ならびにご支援をいただき有り難うございます。

先端医研が管理している分析機器を使用される際には、USBフラッシュメモリを用いてデータを持ち帰るケースが多いと思います。

そこで、先端医研受付(2F)、分光光度計室(2F)、遠心機室(2F)、遺伝子解析実験室(3F)に設置している機器予約用のパソコンにウイルス対策ソフト『Panda Research USB Vaccine』を導入致しました。**下に示す方法でUSBフラッシュメモリが安全であることを必ずご確認ください。**

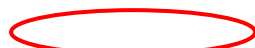
また、先端医研の機器の使用に関わらず、お手持ちのUSBフラッシュメモリのウイルス対策にもご利用下さい。

感染を防ぐために、ご協力の程、宜しくお願い致します。

ご不明な点がございましたら、先端医研受付(内線2574)までお問い合わせ下さい。

操作方法

- ① デスクトップ上に下に示す『Panda Research USB Vaccine』が開いていることをご確認ください。(開いていない場合は、Panda USB Vaccine のショートカットアイコンをダブルクリックし開いて下さい)
- ② パソコンにUSBフラッシュメモリを差し、認識するまでお待ち下さい。
- ③ ウィルスから保護されている場合、

の部分に(vaccinated)が

表示されます。ご確認の上、USBフラッシュメモリを取り外して下さい。

その他が表示された場合は、自動的に保護をし始めますので、(vaccinated)の表示になるまでお待ち下さい。

